



主催：各学校生活協同組合・教育関連団体 他 / 協力：国立極地研究所 / 協賛：ミサワホーム

【ミサワホームと南極の関係性】

南極地域観測は、南極条約に基づき、国際協力のもと国が実施する事業の一つです。ミサワホームは1968年の「第10居住棟」以降、日本南極地域観測隊の活動や生活を支える建物を受注し、その実績は、累計36棟、延床面積約5,900㎡(1,785坪)になります。これまでに日本南極地域観測隊として、累計18名の社員を派遣しております。

【南極クラスの目的】

自社の観測隊員経験者を講師として、

- ①南極を題材に子ども達に夢と希望を届けたい
 - ②日本が南極観測で取組んでいることを次の世代に伝えたい
- といった目的を元に、CSR活動として授業を行っています。

【取組の背景・きっかけ】

東日本大震災で被災した子ども達に、将来の夢や希望を抱ききっかけを与えられないだろうか。被災地支援としての純粋な想いからスタートしました。そこから想いの輪は広がり、少しでも子ども達の成長の糧になればと願い、全国に展開しております。ここ静岡県では静岡県教職員生活協同組合様ご協力の元、2015年度から開催させて頂いております。



【南極クラスが提供できる内容】 キーワード：「本物」と「体験」

① 生活的視点：仲間との協力・相手を思いやる気持ち

観測隊員は約30名で極限の自然環境の中に1年以上隔離されます。そのような中で、様々なミッションを成し遂げてきたからこそ伝えられる事は、チームワークの大切さ、仲間同士支えあう素晴らしさです。

② 産業的視点：キャリア教育

限られた人数で基地運営をする必要があるため、観測隊員と設営隊員で構成される隊員は、いずれも各分野の専門家であることが求められます。それぞれの重要性を伝えることで、幅広い職業観を育みます。

③ 社会・地球環境的視点

環境汚染が最も少ない南極での研究は、地球の過去を知り、未来を予測することが可能です。観測結果と研究から、守るべき地球環境について理解を深めます。

【プログラムのご紹介】 授業時間2コマ分



① 日本の南極観測について(映像+体験)

日本からはるか14,000km離れた南極。道中も過酷です。最低気温マイナス50℃の極寒ならではの体験映像のご紹介。また実際に着用されている防寒服を先生に着ていただき、越冬隊員に見立ててサプライズ登場。子ども達の中を歩いて、越冬服に触ってもらいます。

② 南極の自然環境(映像+体験)

風速60mのブリザードが吹き荒れる過酷な環境下では命を守るための様々なルールがあります。先生にブローアの風を吹きかけ、風速60mを体験頂きます。先生の反応に子ども達も大喜び。休憩時には子ども達もブローア体験が可能です。

③ 隊員の仕事・生活(映像)

観測隊員と設営隊員の約30名で構成される越冬隊員の、それぞれの職業や役割、越冬隊員になった背景をご紹介。過酷な環境下での様々な制約の中でも工夫次第でとても充実した生活に！暮らしぶりをご紹介します。



④ 南極の氷(映像+体験)

約2万年前の南極氷に触れ、匂いを確認、水に入れて溶かした際に出てくる太古の大気の名を聞いて頂きます。まるで炭酸水のような音に子ども達から驚きの声がかんてきです。過去の空気が閉じ込められた氷の分析は、地球環境を知る貴重な手がかりになると期待されます。

⑤ 南極の動物たち(映像)

ペンギン、アザラシ、オオトウゾクカモメなどの自然界で生き延びるための術、子育て映像、不思議な動きなどの生態をご覧いただけます。動物園では見ることができない野生動物本来の姿に、子ども達も釘付けになること間違いありません。

⑥ 南極の自然現象(映像)

日本の基地である昭和基地はオーロラの名所と言われています。実際に撮影してきた幻想的なオーロラ映像をご紹介。その他極夜と白夜、蟹気楼、ハローなど大自然ならではの様々な自然現象を映像や写真にてご紹介します。最後に講師から子ども達に熱いメッセージをお届けします。

令和3年度 出前授業「南極クラス」募集要項

1 南極クラスとは

- ・日本南極地域観測隊の越冬隊員経験者が、体験を語ります。
- ・子どもたちにとって"未知の世界"である南極での活動を伝えることで、未来を背負う子どもたちに夢と希望を届けます。
- ・限られた人数で支え合ってミッションをこなしていく南極隊員の経験を通して、チームワークの大切さを伝えていきます。



2 主 催 静岡県教職員生活協同組合

3 協 力 国立極地研究所、ミサワホーム株式会社、株式会社ミサワホーム静岡、株式会社ミサワホーム総合研究所

4 対象学年 小学校4年生～中学校3年生

*単学年での実施を基本とします。

*最大150名以内でお願いします。

*単学年で150名以上の場合、午前・午後の2回開催と致します。

5 授業時間 授業時間2コマ分：小学校 45分（休憩10分）45分、計100分間

中学校 50分（休憩10分）50分、計110分間

※休憩は開催校の校時どおりとなります。

6 費 用 2,000円程度：「南極の氷」の送料（着払い）、プラコップ購入費

*講師料、旅費は必要ありません。

7 実施上のお願い

- ・子ども同士の間隔が開けられる部屋をご準備ください。
- ・教室や視聴覚室、体育館など、暗幕・カーテンのある部屋を使用させていただきます。
(プロジェクター使用の場合)
- ・開催場所の近くに準備室をお借りします。
- ・マイク・ポータルブルスピーカー・延長コード・プロジェクター、スクリーン、または大型テレビのご用意をお願いいたします。
- ・開催日の2ヶ月前頃までに担当者が事前の打合せに伺います。担当の先生と、教頭先生、学年主任の先生、教務主任の先生等2名以上にてご対応いただくと幸いです。
(事前の打ち合わせには1時間掛かります)

8 お申込み

- ・裏面の申込書をFAXでお送りいただくか、生協HPの入力フォームにてお申し込みください。
- ・記載してある開催日の中から、第3希望までご記入ください。
- ・申し込み多数の場合は、抽選にて決定させていただきます。
- ・開催の決定は5月中旬頃となりますのでご了承ください。

9 申込み締切

- ・令和3年4月30日（金）必着

◆令和3年度 「南極クラス」開催予定日

開催日					
7月		8月	27日(金)、31日(火)	9月	7日(火)、10日(金) 14日(火)、28日(火)
10月	8日(金)、15日(金) 22日(金)、26日(火)	11月	12日(金)、19日(金)	12月	7日(火)、14日(火)
1月	14日(金)、21日(金)	2月	18日(金)、22日(火) 25日(金)	3月	4日(金)、8日(火) 11日(金)

*開催時間を午前・午後どちらかお選びください。

*午前は3・4時間目、午後は5・6時間目を基本とします。

小学校：45分（休憩10分）45分、計100分間／中学校：50分（休憩10分）50分、計110分間

----- 切り取らず、A4サイズのままFAX送信してください。 -----

令和3年度「南極クラス」申込書

申込締切日：令和3年4月30日（金）

申込日 令和3年 月 日

下記の通り、出前授業「南極クラス」を申し込みます。

学校名		対象学年 人 数	年 生	学 級	人
校長氏名		開催希望日			
教頭氏名		第1希望	月 日 ()	午前・午後	
担当者名		第2希望	月 日 ()	午前・午後	
電話番号		第3希望	月 日 ()	午前・午後	
FAX番号		*開催希望日は、上記開催日の中から第3希望まで記入し、午前、午後のいずれかを○で囲んでください。			

※コロナウイルスの状況によっては、直前に開催が出来なくなる場合もございます。

FAX番号

0120-82-9992



QRコードからもお申し込みいただけます。

問合せ先

静岡県教職員生活協同組合

担当：増田

電話：054-282-2140

FAX：0120-82-9992